

2. 評価結果（詳細）

主任調査員 石松 成子 / 調査員 浜田 千里

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	今までの理念を全職員で見直し、わかり易い理念に作り上げた。理念にそって方針を決め、地域密着型サービスの役割を目指した内容になっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員で理念について話し合い、日々のサービスにおいて常に理念を意識し、ケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	周りに住宅は少ないが、デイサービスや施設利用者がホームに来て話している。中学生の体験学習や実習生を受けいれている。地域の文化祭に入居者の作品を出展する等、地域活動に積極的に参加して地元の人と交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は職員に評価の意義や目的を伝え、自己評価を全員で取り組んだ。職員は積極的に評価を活かしてサービスの質向上に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの状況や活動について説明し、話し合いの中で意見や要望を聴き、サービス向上に活かそうと取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は日頃より、問題解決のために町担当者に相談等行い、連携を図っている。会議等への参加もあり、ともにサービスの質向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時に利用者の日頃の様子や職員の異動等話している。廊下に入居者の行事の様子の写真を掲示している。金銭については個別の金銭・出納帳を作成し管理されている。状態変化の時は電話で連絡し、受診後の報告も行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	説明文書に苦情・相談窓口を明記し、入居時に説明している。誕生会・運営推進会議に家族の参加も呼びかけ、話を聴く機会を設けている。利用者・家族から意見や苦情が合ったら、すぐ職員で話し合い、検討するようにしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は利用者が馴染みの管理者・職員に支援を受けられるよう努めている。新規採用者について管理者の意見も聴き、利用者への影響や職員のチームワークにも配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修は出勤扱いで受講でき、報告書を作成しミーティングで報告し共有できている。地域で研修や講演会等がある時は、積極的に受講している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	町内に他のグループホームはなく、多機能ホーム開設に伴う、研修生の受け入れや、老協との交流を図っている。町外のホームの見学など行い、交流の機会を作り、サービスの質向上を目指している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望があれば、本人・家族に見学を勧めている。地域密着型サービスで、法人のデイサービス利用者など昔からのなじみの職員・利用者が多く、安心して入居されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の生活歴や得意なことを職員が把握し、教えたり、教えられたりして一緒に過ごしている。入居者が主役という取組みがみられる。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	管理者・職員は入居者をよく理解し、声かけ等を工夫し、思いや意向を把握しようと努めている。生活の中での言葉や表情から真意を汲み取ろうという姿勢があり、職員間の情報の共有もできている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の意向や職員の気づき、関係者の意見等参考にして、話し合い、利用者本位の介護計画を作成している。職員は介護計画に添ったケアに努めている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的にモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。本人・家族の要望や職員の気づき、状態変化があった場合は関係者や職員と話し合い見直している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院受診や通院介助・自宅訪問・墓参りなど、本人・家族と相談し柔軟に支援している。外出や外泊なども勧め、服薬やケアの方法など情報提供し、支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力病院が近くにあり、受診体制が充実している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に、重度化や医療行為が必要になった場合は、主治医や家族・関係者と話し合い適切な措置を取ることを説明している。		事業者が対応しうる最大の支援方法を踏まえて、利用者や家族が安心してホームで暮らしつづけることができるよう方針を共有することが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は入居者の尊厳と権利を守ることの重要性を認識し、声かけや対応等に配慮し、プライバシーの確保を徹底している。勉強会やミーティングで意識向上を図っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日のスケジュールはあるが、起床・就寝・食事時間など一人ひとりの状態を見ながら、その人のペースで過ごしてもらっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士の献立を参考に、畑の野菜・山菜等を利用し、食べ易いものを作っている。できる方には下ごしらえや盛り付け・片付け・茶碗洗いなどしてもらっている。職員も会話をしながら共に楽しく食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望を聞いて入浴を支援しているが、自然にそれぞれの入浴する曜日や時間が決まっている。いつでも入居者の希望やタイミングに合わせる用意はできており、順番や湯加減に配慮し入浴を楽しめるようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の気持ちや力を把握し、野菜づくりや裁縫、編物など、文化祭に作品を出展するなど、張り合いや喜びになるよう支援している。特老と合同の敬老会で演芸をしたり、誕生会に参加したり楽しく過ごせるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は散歩や農作業を勧めている。風の強い日でも散歩が出来るよう、中庭に歩道を作るなど工夫している。山菜取りや買い物など外出の機会を作り、宇宙センターへのドライブや外食なども実施している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛けない暮らしが普通のこととして、職員は入居者の癖や傾向をつかんで対応している。法人のデイサービスや施設との連携や協力関係が築かれており、鍵を掛けないケアを実践している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の消防団と協力して、年2回夜間想定避難訓練を実施している。災害用の飲料水や食料など準備している。		

グループホームあじさい

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人の栄養士の作成した献立を参考に、栄養バランスや入居者の好み、ある食材を考慮しながら入居者が食べ易いように調理し、完食を目指している。水分補給は一人ひとりの状態にあわせて支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	倉庫をリフォームし、南側に玄関を作り、散歩や家族の訪問も便利になった。居間から中庭が見え、台所と居間は明るく、丸いテーブルが入居者と職員のコミュニケーションの中心になっている。居心地の良い共用空間になっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に洗面所とトイレがあり、使い慣れた布団や手作りの作品・写真など飾り、居心地よく過ごせる工夫がある。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。